

1. 審議会ご意見への対応状況

分類	対応状況	意見数
参考	今後の計画や進捗にあたり参考とさせていただくもの	6件
修正	ご意見の趣旨を参考として案を修正したもの	2件
合計		8件

2. ご意見の内容と市の対応

(1) 今後の計画や進捗にあたり参考とさせていただくもの

NO	意見内容	分類	対応
1	民有林における間伐面積の指標の数値についてですが、令和3年の現状値で120ha、令和13年で400haの目標値としていますが、担い手がいらない中で非常に厳しい目標値となっている。	参考	400haの目標数値は、市に届けがある全ての伐採届を集計した全市の間伐量であり、譲与税の活用や人員強化による10年後までの目標として設定しています。中間見直し等の機会を捉え、今後も検討してまいります。 (代表的な団体による年間最大間伐量 合計320ha)
2	食品ロス対策を項目と目標値を設定したほうがよい。	参考	食品ロスの削減として、3010運動、フードバンク、フードドライブ活動などとして取り組んでいきたいと考えております。目標値は、中間見直し等の機会を捉え、今後も検討してまいります。
3	県外の企業により、風力発電等のリスクなどが伴う施設が設置されることが認められるのかどうか。これは大変重要な課題である。	参考	再生可能エネルギーの設置は、住民と事業者の相互理解のもと本市の再生可能エネルギー供給施設の設置等に係る基本ガイドラインに沿って進めてまいります。
4	成果目標について現状維持というのは目標にふさわしいか。 違う評価指標を選んだ方がいいのでは。2050年までの持続した目標値を設定する時期である。	参考	設定した指標の中には、少子化等により、減少や増加が予想されるものもありますが、当該指標は、施策により現状を維持することが持続可能な社会を構築していくうえで成果を測る重要な指標として設定しています。中間見直し等の機会を捉え、今後も検討してまいります。
5	成果目標について鶴岡市として本当に可能なのか。精査が必要。	参考	成果指標は、担当課と再協議・再検討した結果、原案のままいたしました。 中間見直し等の機会を捉え、今後も検討してまいります。

【環境基本計画(案)】6月17日環境審議会において委員より出されたご意見と市の対応

NO	意見内容	分類	対応
6	地域色というか鶴岡市らしさが出てもいいのでは。例えば小水力発電など。	参考	「ほとりあ」、「ラムサール条約」、それから例えば鶴岡市三瀬地区で取り組んでいるSDGsの取組み等をコラムとして載せております。 なお、小水力発電については、施策の柱3で取り組むこととしておりますが、更に中間見直し等の機会を捉え、今後も検討してまいります。

(2)ご意見の趣旨を参考として案を修正したもの

NO	意見内容	分類	対応
1	本文の10ページの図(温室効果ガスの現状と新目標)は、2050年に排出量が1/5くらいになって吸収量が倍くらいになっている。 あきらかに排出量より吸収量がすごく多いというイメージを与える。	修正	森林整備等の増加したイメージはブルーカーボンも想定した吸収量の図ですが、増加のイメージが強すぎると判断し、森林整備における吸収量のイメージを修正いたします。
2	概要版9ページのところにカラスについて「人との棲み分け」とあるが、カラスはそんなことではとても対応できない。	修正	本文案79頁にあります「各主体が配慮すべき事項・期待される役割の例」表中にある市の役割の分中を以下のように追記いたします。「カラスについては、巢に近寄らないなど、市民に対し棲み分けなど共生の考えについても周知する。」